

第1回甲府市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 計画部会 議事録

日時 令和6年4月22日(月)18時30分～

場所 甲府市役所 本庁舎7階 7-2会議室

1. 計画部会開会
2. 計画部会委員紹介
3. 子ども未来部職員紹介
4. 子ども未来部長挨拶
5. 計画部会長挨拶
6. 議事

(1)「第3期甲府市子ども・子育て支援事業計画」策定に関するニーズ調査集計・分析結果について

【事務局】

「第3期甲府市子ども・子育て支援事業計画」策定に関するニーズ調査集計・分析結果について、報告書に基づき、前半分（就学前の子どもへの調査）までを事務局より説明。

【委員】

- 計画部会委員で協議・考察するにあたり、ニーズ調査の分析結果をもう少し踏み込んだ内容の記載にしていただきたい。
- 現在、様々な地域子育て支援事業を行っているが、認知度が低いように見受けられる。特に子育て支援アプリ「すくすくメモリーズ」については、登録状況が極めて低いことから、利便性の高い機能の導入など、今一度ユーザー視点に立ち返り、改善や周知をしていく必要がある。
- 「放課後児童クラブ」等については、サービス提供時間の延長希望が増加傾向にあるが、愛着形成が不十分なことにより起こる愛着障害の子どもが増えている点を考慮すると、必ずしも延長することが、正しい判断だとは限らない。子どもが家庭で過ごす時間を大切にできるよう、保護者のライフステージに合わせた働き方が実現できる社会づくりが重要である。
- 発達支援が必要な子どもも増えているため、その状況調査など、現状を把握したうえでの次の5か年計画を策定してもらいたい。

【会長】

- ニーズ調査の原因分析を行うことや、数値的な目標を満たすだけでなく内容を見ながらより良い計画を策定していくことが重要と理解した。計画策定時には、ただ今の意見を考慮いただきながら策定にあたりたい。

【事務局】

「第3期甲府市子ども・子育て支援事業計画」策定に関するニーズ調査集計・分析結果について、報告書に基づき、後半分（就学している子どもへの調査）を事務局より説明。

【委員】

- 子どもの放課後の過ごし方には、「放課後デイサービス」というものもあると思うが、回答欄に個別に明記されていないのは、「その他」に含まれているということで良いか。「その他」詳細が分かれば、計画策定をより良い物にできるのではないか。

【事務局】

- 「放課後デイサービス」については、「その他」として回答をされていると思われるが、「その他」の具体的な内訳までは把握できていない。

【委員】

- 「放課後児童クラブ」については、キャパシティがオーバーしつつある。小学校の空き教室の有効活用と合わせて、民間企業の参入を促した塾や習い事の提供など、利用料を徴収する形での運営ができれば、子どもの新たな居場所づくりにもなる。子どもや保護者のために、少しでもアイデアを絞って検討していくべきである。

【会長】

- そのような取組は、家庭の経済力で差が出てしまう可能性もあるため、十分に検討していく必要がある。教育委員会等との連携も必要であると思うが事務局の意見をいただきたい。

【事務局】

- 公立小学校の放課後児童クラブは、原則3年生までの利用となっており、4年生以上は民間委託先の放課後児童クラブへ回っているという状況である。民間企業の参入は、他都市の状況なども情報収集していきたい。

【委員】

- 子育てをしている保護者自身の悩みとして、「子育てに関する費用のこと」、「仕事や自身のやりたいことを実施するための十分な時間が取れないこと」の悩みが想像以上に多いことが分かった。このような悩みを聞き出していくことは非常にハードルが高く難しいと思うが、保護者に対するワークライフバランスなどの視点に立った「学び」を、市が主催する講座などで啓発していくことにより、子どもの育ちにも良い影響を与え、悩みを抱える保護者を減らせるのでないか。

【事務局】

- 子育て支援センターなどでは、現在も母子向けの講座を開催していることから、いただいた意見を参考に計画策定に反映できればと考えている。

【委員】

- 子どもに関する悩みで、就学前の子どもの場合は、「病気や発育発達に関すること」が非常に多い。一方、就学後の子どもになると「教育に関すること」が非常に多いが、次点として「子どもの友だちづきあいに関すること」も多く、その悩みというのは、保護者同士のつきあいの部分と関係してくることから、計画策定にあたっては、そのような視点も反映される必要がある。
- 「地域に支えられている」というフレーズが報告書の中に出てきたが、表現が抽象的であるため、どのような内容を想定した設問としたのかお答えいただきたい。

【会長】

- 子ども同士の友だち関係や保護者同士の関係の問題が顕在化してくるのは、小学校に入ってからだと考えられる。小学校では、アンケートを取ったり、PTAで対応したりと動いているが、問題がすべて事前に防げるわけではない。これは、甲府市においても同様である。
- 「地域に支えられている」という言葉は、多義的であるため、事務局からの見解を出していきたい。

【事務局】

- 「地域に支えられている」というフレーズについては、こども基本法を参考に、「社会とのつながりや支えがありながら生きていくということ」を意識して設問を作成した。言葉の意味の受け取

り方は、個人差があるため、計画策定の際には、どのような考えで回答がされているかという視点で深堀していきたい。

【委員】

- 保護者の放課後児童クラブ等に対するサービス時間の延長希望が多いことも理解したが、子どもの意見もしっかりと聞いて、内容のすり合わせをしていただきたい。

【委員】

- アンケートに自由記載欄があれば、そちらの内容についても提供してもらいたい。

【事務局】

- 自由記載欄はあるが回答数が膨大であったため、まだ公表できる形となっていない。今後の情報共有に向け内容を精査する。

(2) 「(仮称) 甲府市こども計画」の策定スケジュールについて

【事務局】

「(仮称) 甲府市こども計画」の策定スケジュールについて、事務局より説明。

【会長】

- 本日を含め、6回の部会が予定されているので、意見を出し合い、部会全体として計画を策定していきたい。

【委員】

- 計画策定支援等にあたる事業者はどういった業種になるのか。

【事務局】

- 現在、公募をしている最中ではあるが、コンサル系やシンクタンク系などの公共政策を専門とする企業が中心になってくるものと想定している。

【委員】

- 事業者が市のことや教育現場のことをしっかり理解してくれるのか心配される。そのようなことから甲府市の職員も、しっかり携わった上で計画を策定していただきたい。

【会長】

- 計画策定にあたっては、行政の担当者もいる中で計画部会の委員でも意見を出し合っていくため、事業者任せの計画になることは、想定されない。委員も積極的に計画策定に関わり、引き続き情報共有をする中で、様々な意見をいただきたい。

(3) その他

※特になし

7. 計画部会閉会